

平成 24 年 11 月 26 日発表

担当課：政策調査課

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等 政策提言（マニフェスト）の取組状況について
～ 進捗率 82%、自己評価 79 点 ～

1. 実施日時等 平成 24 年 12 月 1 日（土）
(市報及び市ホームページに掲載)

2. 会場・主催地 熊谷市宮町二丁目 47 番地 1

3. 主催者・関係者

(1) 団体名等 熊谷市

(2) 代表者名 熊谷市長 富岡 清

T E L 048-524-1111

4. 事業内容

6 つの政策分野と 58 の施策からなる市長の政策提言（マニフェスト）の 3 年目の取組状況を取りまとめましたので、公表いたします。

5. 目的・理由

政策提言（マニフェスト）に掲げた各施策の 1 年ごとの進捗率や実績・取組状況について総括・評価をすることで、現状を把握し、4 年目の取組に効果的かつ効率的に反映させていくことを目的としています。

6. 経緯・経過

市長選挙時に掲げた政策提言（マニフェスト）について、平成 21 年 11 月 6 日の市長就任（新市としては 2 期目）から 3 年が経過しましたので、昨年同様にこの 1 年間の取組結果を公表するものです。

7. 影響・効果

今回の結果をしっかりと分析し、目標を達成できるよう課題解決に全力を挙げ、各施策の着実な実施に努めていきます。

8. 県内の状況

県内では、上尾市、行田市、秩父市などが実施をしています。

※ 資料の有無（有・無）

担当者 政策調査課 津留

連絡先 T E L 048-524-1111（内線 369）

政策提言(マニフェスト)の取組状況について

進捗率 82%、自己評価 79 点

～ 昨年比 8%、9 点アップ ～

市長の政策提言(マニフェスト)について、任期の2期目で3年目となるこの1年間の取組状況をお知らせします。

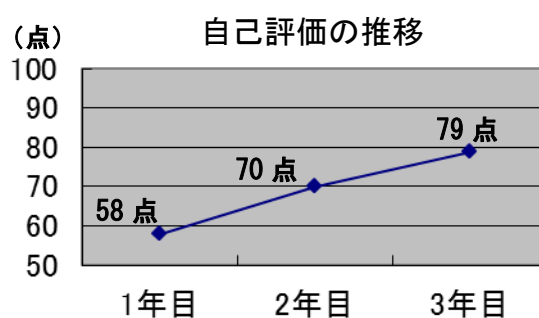
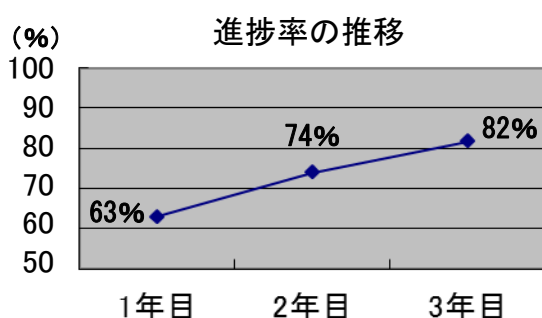
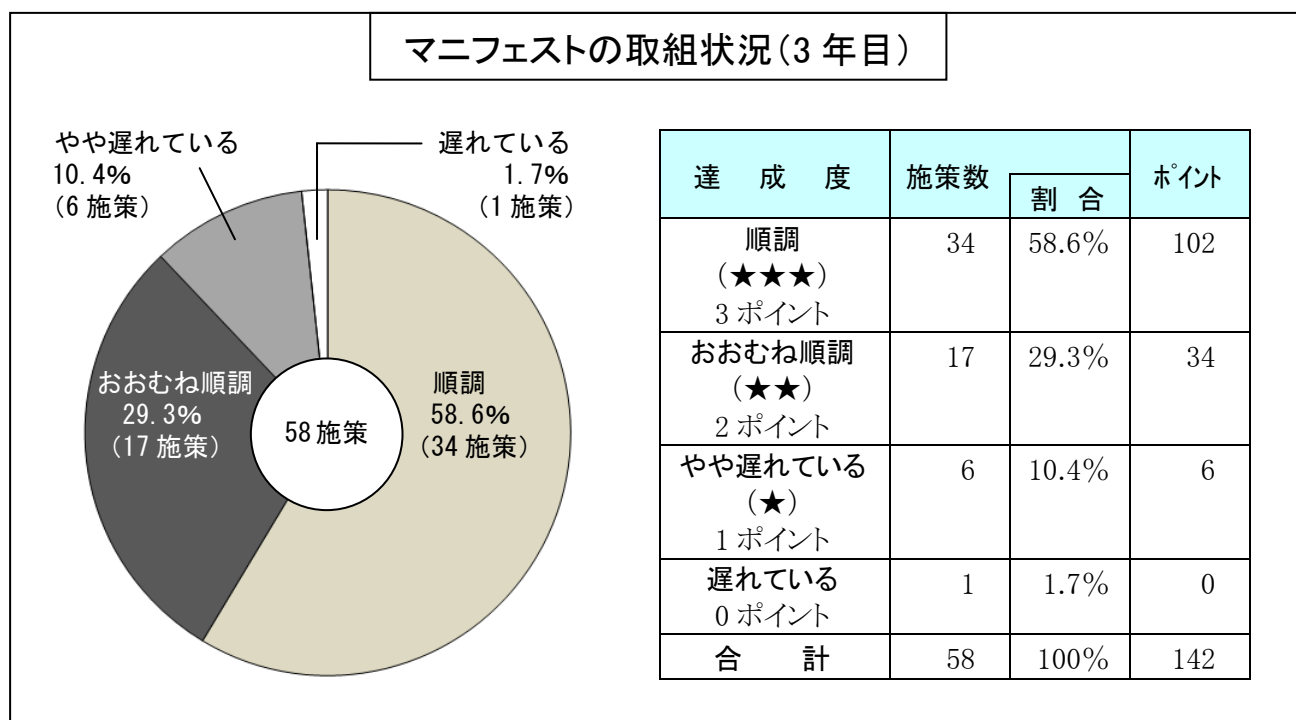
1 概要

58 施策にわたる政策提言(マニフェスト)の達成度を、実績・取組状況に基づき、

- ・ 順調 (★★★＝3 ポイント)
- ・ おおむね順調 (★★＝2 ポイント)
- ・ やや遅れている (★＝1 ポイント)
- ・ 遅れている (0 ポイント)

の4段階で評価しました。

58 施策のうち、34 施策が「順調」で 102 ポイント、17 施策が「おおむね順調」で 34 ポイント、6 施策が「やや遅れている」で 6 ポイント、「遅れている」は 1 施策となりました。これにより、3 年目の達成度は 142 ポイント(全施策が「順調」の評価で 174 ポイントとなります。)、進捗率は 82%となります。この結果を踏まえ、自己評価を 79 点としました。



2 3年目の主な成果等

① 市民が元気で健康なまちをつくります

旧市立女子高校の施設をリニューアルして、「(仮称)スポーツ・文化村」(市民の皆さんがスポーツと文化に親しむことができ、合宿や研修での宿泊もできる生涯学習の拠点となる施設です。)を来年 9 月に一部オープンします。現在、施設改修工事と道路拡張工事を実施するための準備を進めています。

また、熊谷東小学校区の公民館を中央消防署との複合施設として建設中であり、来年 4 月にオープンする予定です。

② 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

中学校卒業までの「こども医療費」の窓口無料化の対象となる医療機関の範囲を深谷市と行田市にまで広げました。

また、新たに奈良児童クラブと第 3 大幡児童クラブを開設し、市内の公立の児童クラブは 35 か所となりました。

さらに、市内 18 か所目となる地域子育て支援拠点「0・1・2・3 歳 くまっぺ広場」をイオン熊谷店 3 階に開設しました。

③ 活気とにぎわいのあるまちをつくります

旅行情報誌「るるぶ」の特別編集版「るるぶ熊谷」を発行し、国宝・歓喜院聖天堂を始め、市内各地の見所、絶品グルメなど本市の魅力を市外にも広く発信しています。

また、企業の新設などを支援する「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに 5 社を指定事業者としました。内訳は、市内での増設が 2 社、市外からの新設が 3 社です。

さらに、次世代自動車や再生可能エネルギーなどの企業支援施設や地域の文化・市民活動の支援施設などの複合施設(交流拠点施設)を旧テクノグリーンセンター用地に整備するための基礎調査を県と市の共同事業により実施します。

④ 安全と安らぎのあるまちをつくります

大規模災害の発生直後は一般的に自助 7 割、共助 2 割、公助 1 割と言われ、自主防災組織の役割が大変重要となるため、その組織率の向上を図るとともに活動を支援しています。11 月 1 日現在の組織率 58.2% (去年は 51.4%) です。

また、老朽化した中央消防署の建替工事中であり、来年 3 月には完成する予定です。

このほかに、家庭用と事業所用の太陽光発電設備と高効率給湯器の設置費用の補助を前年度より予算を増額して行いました。(計 3,500 万円)

さらに、地球温暖化対策の一環として平成 23 年 4 月 2 日からの 1 年間に低公害・低燃費軽自動車の新車登録をされた方に、軽自動車税相当額を交付しています。申請受付期間は、来年 3 月 25 日までです。

⑤ 便利で機能的なまちをつくれます

久保島踏切について、JR 東日本、秩父鉄道と踏切道拡幅のための工事協定書を締結しました。

また、第 2 北大通線西側の整備済箇所から大幡中学校北側の市道につながるまでの区間の工事を進めており、来年 3 月中には供用を開始する予定です。

⑥ 効率的な行財政経営を進めます

職員総数の抑制により、平成 23 年度の減員数は 28 人で、前年度と比較した効果額は約 2 億 2 千万円となりました。

また、平成 23 年度末の市債残高は約 672 億円で、前年度と比較して約 23 億円の削減となっています。

市長の政策提言(マニフェスト)の取組状況

凡例：「★★★」 順調
「★★」 おおむね順調
「★」 やや遅れている
「－」 遅れている

① 市民が元気で健康なまちをつくります

番号	政策提言	取組実績等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
1	観るスポーツを誘致し、参加し、楽しむスポーツを振興します	全国高等学校選抜ラグビー大会、さくらマラソン大会、高校女子サッカー大会(めめまカップ)の中核3事業を開催したほか、埼玉サイクリングフェスティバルなど県が主催するスポーツイベントへも積極的に協力し、市民の皆さんが参加し、楽しむことのできるスポーツの振興を図りました。	★★	★★★★	★★★★
2	不妊治療費の助成を拡大します	上限額10万円を通算5年間助成(平成22年4月1日以後の治療分から適用)しています。平成23年度は92件、計785万6,318円の助成を行いました。	★★★★	★★★★	★★★★
3	ふれあいいきいきサロンなど、高齢者等が楽しく過ごせる場を増やします	地域の高齢者や障害者等の交流の場として、市のふれあいいきいきサロン(ダモンネみはらし)を平成21年度から平成23年度まで委託事業として開設しました。地域住民の皆さんが協力してコンサートやパソコン・ヨガ等の教室やフリーマーケット等、独自のイベントを実施し、委託事業終了後も市民の皆さんの交流の場として地域に根付き活用されています。 また、社会福祉協議会のふれあいいきいきサロンは地域の高齢者と市民(ボランティア)の皆さんが気軽に集まって親睦を深めることを目的に開催しています。	★★	★★★★	★★★★
4	校区連絡会の地域計画づくりを支援し、住みよい地域づくりを進めます	地域計画づくりのモデル校区として星宮小学校区と桜木小学校区を選定しています。 星宮小学校区では、平成24年度中の計画策定を目標に協議を行い、校区内の全世帯を対象とするアンケート調査等を実施中です。 桜木小学校区では、校区内アンケート調査の結果を取りまとめ、その結果を踏まえて地域計画の骨子の検討及び具体的な計画を検討中です。	★★	★★	★★
5	高度救急医療を視野に入れた地域医療体制を充実させます	小児救急医療支援事業により、熊谷・深谷・児玉地区が連携し、行田総合病院と深谷赤十字病院において輪番で休日と夜間の小児診療体制を整えています。 また、県小児医療センターから深谷赤十字病院へ非常勤医師等を派遣する事業費用の一部を熊谷市を含む県北8市町が負担することにより、小児救急医療の充実を図っています。	★	★	★
6	市立女子高校跡地を生涯学習、教育、スポーツの場にします	幅広い世代の市民の皆さんが生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことのできる「(仮称)スポーツ・文化村」の第一期工事を平成25年度にかけての2か年度で整備し、平成25年9月には一部をオープンする予定です。現在、施設改修工事と道路拡幅工事を実施するための準備を進めています。	★	★★	★★
7	熊谷東小学校区内に公民館を新たに建設します	平成23、24年度の2か年にわたり工事を進めており、平成25年4月にオープンする予定です。	★★	★★	★★★★

② 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

番号	政 策 提 言	取 組 実 績 等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
8	中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を継続して実施します	中学校卒業までのこども医療費の窓口無料化を継続して実施しています。また、平成24年10月1日から窓口無料の広域化を実施しました。 (対象地域:深谷市、行田市)	★★★	★★★	★★★
9	小・中学校の屋内運動場を順次、改築します	三尻小学校、籠原小学校、熊谷南小学校の屋内運動場改築工事を実施しています。 また、佐谷田小学校、熊谷西小学校、桜木小学校の屋内運動場の改築に向け、設計業務等を委託しました。	★★	★★	★★★
10	学力向上補助員と学校教育支援者を増員します	市内全校に学力向上補助員を配置して個に応じたきめ細やかな指導を実施し、県の学力調査の結果等でも効果が上がっています。平成24年度は2人増員して合計58人となりました。 また、地域の学校教育支援者の協力を得て、多様な教育活動や体験的な活動の充実を図っています。この活動を各クラスごとに年間で小学校は2回、中学校と特別支援学級(小・中)は1回実施しています。	★★	★★	★★★
11	外国人英語指導助手を市内全小・中学校に配置します	小学校では、5・6年生全で年間35時間以上の外国語活動を担任との協同授業で実施しています。 中学校では、英語教員と協同で授業を実施し、英語教育、国際理解教育等を推進しています。	★★	★★	★★
12	0歳児保育を実施する保育所を増やします	公立保育所については、平成23年度4月から大里第二・第三保育所を除く市内全域11か所で生後8週からの0歳児保育を実施したことにより、平成24年11月1日現在、58人の0歳児が入所しています。 大里第二・第三保育所については、大里保健センターを両保育所の統合保育所として改修・転用し、平成26年度に予定する開設とともに0歳児保育を実施します。	★★	★★★	★★★
13	児童クラブを増やします	平成24年4月1日に市立では34か所目となる「奈良児童クラブ」を開設し、9月1日には35か所目となる「第3大幡児童クラブ」を開設しました。いずれも定員は30人です。	★★	★★	★★★
14	子育て広場を増やします	平成24年4月1日に市内で18か所目となる地域子育て支援拠点「0・1・2・3さい くまっぺ広場」をイオン熊谷店3階に開設しました。	★★	★★★	★★★
15	母子家庭に支給されている児童扶養手当を、他市にさががけ、父子家庭にも支給します	児童扶養手当法の一部改正により、平成22年8月1日から父子家庭も支給対象となりました。その費用の3分の2を市が負担しています。 平成24年11月1日現在での受給世帯は70世帯です。	★★★	★★★	★★★
16	学校給食施設の整備を進めます	老朽化した調理設備の計画的更新を進め、単独式調理場5校に5機種8機の備品を整備しました。	★	★	★

③ 活気とにぎわいのあるまちをつくります

番号	政 策 提 言	取 組 実 績 等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
17	自転車道整備やバリアフリー化を進め、回遊性の向上を図り、中心市街地のにぎわいをつくります	国の補助事業を活用する中心市街地活性化基本計画の認定を目指して計画内容の見直しを行うとともに、関係省庁との事前相談等を実施しました。また、計画の基礎データとなる通行量調査を実施し、中心市街地活性化協議会の設立に向けた準備会も開催しました。 なお、事業の展開は中心市街地活性化基本計画が国から認定を受けてから(平成25年度以降)となります。	★★	★★	★
18	補助を伴う融資により、中小企業経営を支援します	市制度融資を利用して借入金を約定どおり完済した事業者には信用保証料(計385万6,011円)を補助しました。また、約定どおり返済中の事業者には金融機関への支払利子(計2,924万4,200円)を補助し、中小企業者を資金面から支援しました。 さらに、一般・小口事業資金申込者に対しては現地調査を実施し、金融機関へ融資の依頼を行いました。	★★	★★	★★
19	農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みを支援します	平成24年4月以降は継続33地区、新規7地区(合計40地区)の事業支援を行っています。	★★★★	★★★★	★★★★
20	「熊谷フィルムコミッション」により映画撮影等の支援を行い、市のPRに努めます	映画やテレビドラマ、CMなどの撮影依頼に対し、市内ロケーションの紹介や調整等を行っています。	★	★	★
21	熊谷中央地区のほ場整備を推進します	埼玉県が行うほ場整備事業(平成23年度事業費負担金2億790万円)に対し、市負担金を支出し事業の推進を図りました。	★★	★★	★★★★
22	市民の食の安心・安全を図るため、地産地消運動を進めます	熊谷産農産物ののぼり旗を作成し、スーパーやJA直売所等に提供し、地産地消の機運を高めています。 また、平成23年1月に鎌倉町にオープンした「地産市場かまくら」への補助を行っているほか、同年5月からは毎週日曜日に星川お祭り広場で「星川あおぞら市」を開催しています。	★★	★★	★★
23	熊谷ブランド化を図り、地域物産情報の発信を進めます	熊谷市内と近隣市に「雪くま」の折込チラシを配布するなどのPR活動を実施しました。 また、市報やホームページの活用に加え、熊谷市産業祭や「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」を始めとした県内外のイベントに出展し、熊谷の観光と地域物産の情報を発信しています。	★★	★★	★★
24	商店街の街路灯を省エネ電球(LED)に交換する支援をします	これまでに185基の街路灯をLED化するための補助を実施し、電気料は前年よりも低減され大きな効果が出ています。	★★	★★★★	★★★★
25	祭りなど各種伝統行事の運営を支援し、観光客誘致に努めます	各種広告媒体の活用やイベントへの出展により、熊谷市の観光と地域物産の情報を発信し、観光客の誘致に努めています。 また、9月には旅行情報誌「るるぶ」の特別編集版「るるぶ熊谷」を発行し、JR高崎線の駅やJTBの北関東を中心とする支店などで配布しています。	★★	★★	★★

番号	政 策 提 言	取 組 実 績 等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
26	既存企業の支援を強化するとともに、地球環境等に配慮した企業の立地を進めます	企業の新設などを支援する「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」に基づき、新たに5社を指定事業者としました。内訳は、市内での増設が2社、市外からの立地（新設）が3社です。 また、市内の企業に調査票を郵送したり直接訪問したりすることで企業立地に係るニーズの把握を行っています。	★★	★★★★	★★★★
27	妻沼聖天山を中心にしたエリアを観光拠点として整備します	本殿の修理完成を知らせる懸垂幕を作成して道の駅めぬまに掲示しました。 また、観光案内板や立看板、妻沼聖天前バスターミナルの参拝者専用駐車場の区画線を修整したほか、JR高崎線と湘南新宿ラインの中吊り広告費や関連グッズの作成費を補助しました。	★★	★★	★★★★
28	携帯電話を利用して、いつでも街角の情報、観光案内が受けられるシステムを導入します	「観光ガイドシステム」では、市内に点在する彫刻や文化資源などの案内板と案内マップに携帯電話読取用QRコードを掲載し、携帯電話を利用した文字や音声による案内を行っています。 この「観光ガイドシステム」をより充実させるために、庁内のワーキングチームにより、平成24年度中にガイド拠点の選定とガイド内容を決定し、設置箇所を拡充します。	★	★★	★★
29	歴史的、文化的資産をデジタル化した「熊谷デジタルミュージアム」を開設します	デジタルミュージアムの内容を一層充実させるため、平成24年10月からは江南文化財センター・熊谷市立図書館・市史編さん室・妻沼中央公民館のいずれからも直接情報を更新できるようにシステムを変更しました。	★	★★★★	★★★★
30	豊かな里山など地域の魅力的資源を活用した交流事業「熊谷型グリーン・ツーリズム」を進めます	市内観光名所の見学や農業体験等（特産品の収穫とその調理等）を行う「グリーンツーリズムイン妻沼」と「グリーンツーリズムイン江南」を計4回実施し、参加者に熊谷の魅力をPRしました。	★★	★★	★★
31	テクノグリーンセンター用地に、県と共同で賑わい施設をつくります	平成24年度は共同事業者である埼玉県と地域経済界や学識経験者、民間団体等を交えた北部地域振興交流拠点施設（仮称）整備推進協議会を立ち上げ、本施設の整備の方向性についての検討を進めており、平成24年度中に基本構想を策定する予定です。 また、事業着手に向けた基礎調査（土質調査・用地測量）も平成24年度中に実施する予定です。	★	★	★★

④ 安全と安らぎのあるまちをつくります

番号	政 策 提 言	取 組 実 績 等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
32	「あつさ はればれ熊谷流」事業を充実し、先進的な環境プロジェクトを進めます	小・中学校の「みどりのカーテン」整備事業を実施しています。このほかに、市民、事業者に対しての「みどりのカーテン補助金」として、平成24年度は11月1日現在で230件、73万4千円を交付しています。 また、熊谷駅前広場冷却ミスト事業などもクールシェアくまがやの連携事業として取り組みました。 さらに、平成24年度は新たに低公害軽自動車導入奨励事業を実施しています。	★★	★★	★★
33	自主防災組織の組織率を引き上げます	自主防災組織の組織率を引き上げるため、次の取組を行いました。 ・自治会連合会へ結成の依頼 ・自治会において結成前説明会の実施 ・自主防災組織リーダー研修会の実施 ・市報へ啓発記事の掲載（平成24年3月号、7月号） ・市政宅配講座等で自主防災組織の重要性を説明 なお、平成24年11月1日現在の組織率は58.2%です。	★★	★★★★	★★★★
34	こどもエコクラブを各小学校区に設置し、「環境について自ら考え、自ら行動できる子」を育てます	自然保護に力を入れている学校に、個別に加入を依頼するなどして、こどもエコクラブの登録団体が4団体から19団体に増加しました。	★	★	★★
35	家庭用太陽光発電設備の設置費用を助成します	家庭用太陽光発電システムを設置した市民に補助金を交付しました。 （2万5千円/KW、上限10万円） ・平成24年度補助額 3,000万7,000円（330基）	★★	★★★★	★★★★
36	犯罪抑止に効果の高い青色防犯灯への交換費用を助成します	平成23年10月1日から平成24年9月30日までの間に自治会が新設・灯具交換した防犯灯510灯のうち、134灯が青色防犯灯であり、計154万9,587円の補助金を交付しました。	★★	★★★★	★★★★
37	合併処理浄化槽の維持管理費用を助成します	合併処理浄化槽を適正に維持管理している市民に補助金を交付しました。 ・4,104万7千円（2,526件）	★★	★★★★	★★★★
38	低公害自動車の軽自動車税に対して助成します	低公害軽自動車を取得した市民等に奨励金（軽自動車税相当額）を支給し、低公害車への乗り換えを推進しました。平成24年6月から申請受付を開始し、262台、188万8,000円の奨励金を交付しました。	★★	★★	★★★★
39	企業の環境関係設備に対する課税上の支援をします	業務用太陽光発電システムや業務用高効率給湯器を設置した企業に補助金を交付しています。平成24年度は5件、100万3,000円の補助金を交付しました。	★★	★★★★	★★★★
40	市街地の公園を市民の憩いの場として再生します	社会資本整備計画「誰もが安全で安心して利用できる公園づくり」を平成23年度から25年度までの3年間を実施期間として推進しています。公園の長寿命化計画は平成25年度に策定する予定です。	★★	★★	★★
41	市民による公園の芝生化を進めます	公園サポーター制度に加入している地域の団体に芝生化に取り組んでもらえるようPRを行っています。	★★	★★	★★
42	中央消防署を移転して整備し、消防力を強化します	建築工事を進めており、平成25年3月に完成する予定です。	★★	★★	★★★★

⑤ 便利で機能的なまちをつくります

番号	政策提言	取組実績等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
43	橋梁の調査点検、維持管理を行い、長寿命化を図ります	平成23年度は職員により65の橋梁について点検を実施しました。平成24年度は84の橋梁の点検を実施します。また、平成24年度に業者委託により52の橋梁について点検を実施し、平成25年度中に橋梁長寿命化修繕計画を策定します。	★★	★★	★★★★
44	交通安全上、狭くて通行しにくい籠原駅東側などの踏切道の拡幅改良を進めます	平成24年度は久保島踏切について、JR東日本、秩父鉄道と踏切道拡幅のための工事協定書を締結しました。	★★	★★	★★★★
45	南運動場を多目的広場として再生します	老朽化した南運動場(野球場)を解体・芝生化し、ジョギングコースや健康遊具、トイレ、駐車場などを備えた「伊勢町ふれあい公園」として、平成23年4月にリニューアルオープンしました。子どもから高齢者まで幅広い年代の市民の皆さんに御利用をいただいています。	★★	★★★★	★★★★
46	市内循環バスは、75歳以上の運転免許証返納者の料金無料化を図るとともに、路線数を増やします	免許証を返納した70歳以上の方には、申請により無料で乗車できるパスを交付しています。平成24年11月1日現在の申請者数は282人です。 また、平成23年10月1日からは新たに2路線を増やし、6系統での運行を行っています。	★★	★★★★	★★★★
47	街路樹による緑陰形成や路面温度を低下させる舗装等、地球温暖化防止の道路空間整備を進めます	「熊谷市道路空間整備推進委員会」において熊谷駅周辺の国道17号を中心とする主要な県道及び市道について「熊谷中心市街地道路空間整備計画(案)」を策定しました。現在、事業化に向けて国及び県と協議を進めています。	★★	★★	★★
48	熊谷駅南北駅前交通広場の整備を進めます	整備計画案の作成のため交通管理者である県警察本部と協議を重ねる中で指摘された課題(熊谷駅正面口と東口を結ぶ市道80541号線の一方通行化を含む周辺道路の交通動線の整理)の解決に向け、現状の交通量等を把握するため、交通量調査を実施しました。今後はさらに熊谷駅周辺の交通動線計画を検討するための手段として社会実験等を含めた調査を予定していますが、中心市街地都市再生整備計画事業の一環として行うため、平成25年度以降の実施となる予定です。	★★	★★	★
49	籠原駅北口周辺の電線地中化を進めます	平成24年度は籠原駅北口線(L=475m)のうち、280mについて街路築造工事を実施します。	★★	★★	★★
50	(仮称)熊谷西環状線の整備を進めます	平成21年度に埼玉県が事業に着手し、平成22年度は現況測量と道路詳細設計などを実施しました。また、平成23年度は用地測量を実施し、平成24年度は用地交渉を行っています。	★★	★	★★
51	(仮称)南部東西幹線の整備を進めます	旧玉川熊谷線から旧東松山有料道路を結ぶ約250mの区間を優先整備する予定ですが、全体計画が未決定であり、今後、県と連携を取りながら事業化を進めていきます。	—	—	—
52	(仮称)妻沼東西幹線の整備を進めます	現在、県道熊谷太田線から東武熊谷線跡地までの間の用地交渉を優先的に進めています。平成23年度中には弥下自治会の自治会館の移転も完了しました。今後も地権者の協力が得られるよう交渉を継続していきます。	★	★	★
53	東武熊谷線跡地の道路の整備を進めます	第2北大通線(第1期整備区間)の事業効果を上げるため、第2北大通線の整備済箇所から大幡中学校北側の市道につながるまでの区間の整備を進めています。この区間は平成24年度中の供用開始を予定しています。	★★	★★	★★★★

⑥ 効率的な行財政経営を進めます

番号	政 策 提 言	取 組 実 績 等	達成度		
			1年目	2年目	3年目
54	市職員の数を減らし、人件費を大幅に削減します	平成23年度退職者数67人に対し、平成24年度の新規採用を39人に抑制しました。平均給与額を基に平成22年度と比較した効果額は約2億1,870万円となっています。	★★	★★★★	★★★★
55	弾力的な財政運営を図るため、引き続き、市債を減額します	借入額を元利償還額以内に抑えることで市債の残高を減らしました。 また、普通会計や下水道特別会計においては、公的資金の繰上償還を行うことで高金利の市債を減らしました。 ・平成22年度末の市債残高:695億円 ・平成23年度末の市債残高:672億円 ・削減額:約23億円	★★	★★★★	★★★★
56	指定管理者制度等の導入を拡大し、利用者の利便の向上を図ります	「行政改革大綱・後期実施計画書」に基づき、指定管理者制度の活用も含め、公の施設のあり方を検証しました。その結果、平成24年度は新たに7施設(大里体育館、江南体育館、籠原体育館、大里総合グラウンド、江南総合グラウンド、大里生涯学習センター、江南総合文化会館)で指定管理者制度を導入しました。これにより、指定管理者制度等を導入した施設は37施設となりました。	★★	★★	★★★★
57	新ハートフル・ミーティングを実施します	小学校区を対象にしたハートフル・ミーティング(8巡目)を15回開催し、計682人の皆さんと市長との意見交換の場を設けました。 また、PTA連合会のほか、大里中学校、奈良中学校、富士見中学校の生徒を対象としたミーティングを開催し、486人の皆さんに参加をしていただくなど、小学校区以外を対象としたミーティングも計画的に実施しています。	★★	★★	★★★★
58	特定行政庁へ移行し、建築確認等の利便性を高めます	平成22年4月に特定行政庁へ移行し、全ての建築物の建築確認や許認可等の業務を行っています。	★★★★	★★★★	★★★★